

武蔵野ごみ ニュース

～ごみ減量情報紙～

平成29年10月5日

vol.19

発行 武蔵野市環境部ごみ総合対策課
住所 〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5武蔵野クリーンセンター内
電話 0422-60-1802
E-mail sec-gomitaisaku@city.musashino.lg.jp
ホームページ <http://www.city.musashino.lg.jp/>

武蔵野クリーンセンターは、みなさまのお家から出る燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、有害ごみを受け入れている市内唯一のごみ処理施設です。昭和59年に稼働を開始した旧クリーンセンターは、周辺住民の方々のご理解とご協力をいただきながら、32年間にわたり運転を続けてきましたが、機械の耐用年数などの状況から昨年12月にその役目を終え、引き続き周辺住民の方々のご理解とご協力をいただきながら、今年の4月より新しいクリーンセンターが本格稼働しています。



環境の保全に配慮した 安全・安心な施設づくり

 CONCEPT1

最新鋭のプラント設備により、全国トップレベルの排ガス自主規制値以下で運転します。

景観及び建築デザインに 配慮した施設づくり

 CONCEPT2

高さ15mにおさえた整形の建物は、武蔵野の雑木林をイメージしたテラコッタルーバーと壁面緑化によりやわらかくつつまこまれています。

災害に強い施設づくり

 CONCEPT3

耐震基準の1.25倍の耐震設計をしています。ごみ発電とガスコージェネレーションの併用により、災害時にもエネルギーを生み出し、周辺公共施設に供給します。

開かれた施設づくり

 CONCEPT4

いつでもだれでも自由に工場見学をすることができます。また、屋外の広場ではイベントも開催しています。

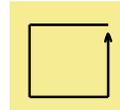
新しいクリーンセンターにぜひおこしく下さい！



ガラス越しにダイナミックな工場機械を見ることができます。



ホールでは、施設紹介の映像をご覧いただくことができます。



2階のフロアを一周することで、ごみ処理の流れがわかるようになっています。

予約不要で自由にご見学いただけます。ムーチンシェル（受付スタッフ）、貸出用タブレット（身分証明書の提示必要）、Pepperが見学のサポートをいたします。

開館時間 平日 午前10時～午後5時

案内希望の方はご予約ください。

問合せ 武蔵野市環境部クリーンセンター
☎ 0422-54-1221



第1回エコマルシェ (6/11)の様子



「ベジタブルガーデン」



「ベジタブルガーデン」で収穫したミニトマト

環境にやさしいライフスタイルを発信するイベント「エコマルシェ」を年に3回開催します。次回は11月19日(日)です。工場見学会もあります。

屋上には、生ごみ堆肥をつかった畑、「ベジタブルガーデン」があり、クリーンむさしのを推進する会と協働運営しています。（屋上見学は事前予約制です。）

屋上で収穫した野菜は「エコマルシェ」などのイベントで配布、試食をしています。

知ってますか？

武蔵野市の「ごみの処理」のあゆみ

これまでの本市のごみ処理の歴史を振り返ると、焼却施設と最終処分場の確保が常に大きな課題となってきました。東京湾という海への埋め立て処分ができる23区とは異なり、本市を含む多摩地域では最終処分を多摩地域内で行う必要があります。現在でもクリーンセンター周辺の方々とは最終処分場のある日の出町の住民の方々のご理解、ご協力により、市内のごみ処理は円滑に行われています。

これらの施設や地域、環境への負荷を軽減するため、市ではごみ処理有料化や分別資源化の徹底、分別区分の変更等によるごみ排出量の削減に取り組んできました。私たちの生活を支えるごみ処理事業を安定的に維持するため、これからも市民一人ひとりがごみ減量と資源化を実践していきましょう。

【武蔵野市 清掃事業のあゆみ】

昭和20年代～

昭和22年の市制施行後、当初は請負によるごみ収集を実施し、その後、市の直営事業に切り替えた。オート三輪、荷車で各戸収集し、塵芥は市内養豚場へ、雑芥は市外の焼却場、または市内や周辺地の爆弾の穴へ処分されていた。20年代の後半には塵芥の排出量が増加したことから、自動車の使用も始まり、全量を市外へ運搬しての処理が行われるようになった。

- 昭和30年 隣接する三鷹市と一部事務組合を結成。
- 昭和33年 武蔵野市・三鷹市の共同処理場「ふじみ焼却場」(三鷹市新川)を建設し、両市のごみを共同処理していた。
- 昭和45年 「ふじみ焼却場」周辺住民から騒音、悪臭、ばい煙等に対する陳情が行われた。
- 昭和46年 周辺住民による反対が強まり、焼却場入口で本市からのごみ搬入車両が阻止された。
- 昭和52年 「もうごみ捨て場がない！みんなで考えよう」第1回ごみ問題市民集会開催。早急に建設用地の選定を提言。



昭和59年～

周辺住民の方々のご理解とご協力により武蔵野クリーンセンターが本格稼働。



日の出町の皆様のご理解とご協力により、武蔵野市を含めて多摩25市1町のごみの焼却灰などの最終処分を行う、「谷戸沢廃棄物広域処分場」の開場(平成10年に満杯)

最終処分場の延命のため、ごみの資源化や処理方法の見直しが進められる。

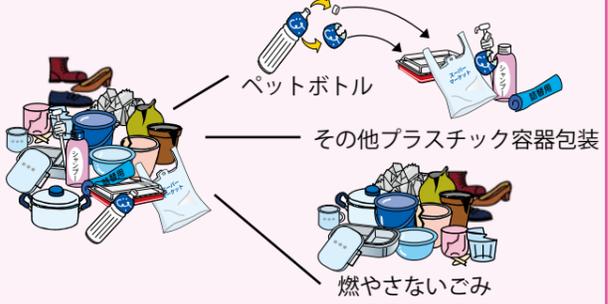
平成10年～

- 日の出町の皆様のご理解とご協力により、二つ目の廃棄物最終処分場「二ツ塚廃棄物広域処分場」が完成。(完成当時の埋立期間の見込みは16年間)
- 焼却灰や燃やさないごみ(破碎残渣)の埋め立てを開始。



平成12年～

- 燃やすごみの収集回数を週3回から週2回に変更。
- 最終処分場の埋立容積に大きな負荷を与えるプラスチック製容器包装類について、分別収集、資源化を開始。(中間処理は瑞穂町の事業者にて実施)



平成15年～

・破碎減容した燃やさないごみ(破碎残渣)が最終処分場への搬入量全体の6割近くを占める埋立容積となっているため、クリーンセンター周辺の方々のご理解とご協力により、試験焼却ののち、全量焼却へ。

平成18年～

・二ツ塚廃棄物処分場にて、最終処分場の延命化を目的として、エコセメント事業を開始。武蔵野市から持ち込まれた焼却灰は全てエコセメント化されることに。それにより、全体の埋立て量は大幅に減ることとなった。



平成21年～

・資源化等の進展により排出量が削減されたため、燃やさないごみの収集回数を週1回から月2回に変更。

平成16年～

・ごみ減量・資源化のため、市内全域で戸別収集を開始すると同時に「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」の処理が有料となる。



・ごみの分別を一部変更。「燃やさないごみ」として分別していた資源にならないプラスチック製品、靴、ラップ、アルミホイルなどが「燃やすごみ」に。

平成29年～

・クリーンセンターの施設の耐用年数から、平成20年より、市民参加で建替えを検討してきた。周辺の方々のご理解とご協力により、新しいクリーンセンターが本格稼働。



～ごみ収集の在り方等検討委員会～

ごみ収集事業全体の合理化を目指して、平成28年1月にごみ収集の在り方等検討委員会を設置した。委員会では、行政収集の収集頻度や分別区分、地区割りの見直しと共に、店頭回収・自主回収、集団回収の在り方について検討を行っている。

上記の年表のように、処理施設の状況や情勢の変化とともに、収集方法の在り方も変わってきました。

ごみの減量・資源化をお願いします。

武蔵野クリーンセンターは、「燃やすごみ」、「燃やさないごみ」、「粗大ごみ」、「有害ごみ」の中間処理施設です。クリーンセンターで焼却したごみの焼却灰は、日の出町にある二ツ塚廃棄物処分場へ運ばれ最終処理されています。エコセメント化により最終処分場の延命が行われていますが、現処分場の埋め立てが終了した場合、次の処分場の見込みがありません。また、「資源ごみ」(「びん」、「缶」、「ペットボトル」、「その他プラスチック容器包装」)は瑞穂町にあるリサイクル工場で中間処理され、「古紙・古着」や「剪定枝」も市外で中間処理されています。

武蔵野市には、ごみの最終処分をできる施設がなく、全ての処理が武蔵野市内では完結しないことを念頭に置いて、より一層のごみの減量・資源化をお願いします。

エコな生活 ライフスタイルのあり方を考えてみましょう！！

- 必要なものが必要な量だけ買う
- 作りすぎず、おいしく食べきる
- いらなくなったものは捨てずに必要な人に譲る
- 資源になるものは、正しく分別して排出する など

むさしの環境フェスタ

青空市と同日開催
します！

日時 平成29年11月12日(日) 午前10時～午後3時 会場 武蔵野クリーンセンター

武蔵野クリーンセンター見学ツアー

今年4月より本格稼働している新しい武蔵野クリーンセンターの施設見学を行いながら、食品ごみの現状や皆さんが出したごみがどこでどのように処理されているのか等も解説します。



(※ツアーのタイムスケジュール等は当日会場にてご確認ください。)

別のおもちゃと交換しよう！

おもちゃの交換会
かえっこ



使わなくなったおもちゃを
持ってきてね。

不要になった小型家電の回収



東京2020組織委員会が主催する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の一環として、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの金・銀・銅メダルを製造するための小型家電回収を行います。ご家庭で不要になった小型家電をお持ちください。

(※今回の環境フェスタ会場では、下記の回収できない品目以外の家庭用小型家電が回収対象となります。また、常設のメダル用窓口回収の品目は、携帯電話・デジタルカメラ・電子辞書・携帯ゲーム機・携帯音楽プレーヤー・電卓・ICレコーダーの7品目ですのでご注意ください。)

× 回収できないもの

- 家電リサイクル法対象商品
(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)
- パソコン (デスクトップ型、ノート型)
- 事業で使用していた家電製品
- 粗大ごみで回収している家電製品

注意事項

- 携帯電話等の個人情報は、必ず消去してお持ちください。
- 乾電池や蛍光灯は、取り外して有害ごみとして通常の収集にお出しください。
- 車でのご来場はご遠慮ください。自転車でご来場の際は、指定の駐輪場をご利用ください。

10月1日
～
10月31日

環境にやさしい マイバッグキャンペーン

武蔵野市では、10月に3R推進月間(リデュース・リユース・リサイクル推進月間)として、環境にやさしいマイバッグキャンペーンを行います。事業者の方々と協力し、マイバッグの持参等、環境にやさしい買い物についてPRを行います。

一人ひとりの取り組みがごみ減量、環境負荷の低減に繋がります。この機会に是非、日々のライフスタイルを見直し、まずは買い物にマイバッグを持参することから始めてみましょう！



協力企業一覧

商店会連合会・スーパーマーケット
コンビニエンスストアなど

アトレ イトーヨーカ堂 エコス 紀ノ国屋 京王ストア コープみらい サミット ダイエー 東急ストア
ビッグ・エー ライフコーポレーション コミュニティ・ストア スリーエフ セブン-イレブン ファミリーマート
ミニストップ ローソン
武蔵野市商店会連合会 吉祥寺活性化協議会 小田急バス 関東バス JR東日本